発売前商品の為、予告なく変更する場合があります。

本仕様書適用品番一覧表

適用品番	説明
ZLP880895	標準品番
ZLP880895B3	3年先出しセンドバック保守バンドル
ZLP880895B5	5年先出しセンドバック保守バンドル
ZLP880895E7	文教ユーザー限定 7年先出しセンドバック保守バンドル ※1

※1 文教ユーザー限定品番はアカデミー向けの限定品番となります。

先出しセンドバック保守バンドル製品について

先出しセンドバック保守バンドル製品にはサービスチケットが同梱されています。
同梱されているサービスチケットに記載の約款に同意頂き、必要事項を記載し、
当社にメール、FAX等で送って頂くことにより当社で登録を行います。
登録完了後、先出しセンドバック保守が受けられます。
登録完了の通知はサービスチケットに記載いただいた保守連絡窓口の方にメールで連絡いたします。
※当社での登録完了後、サービスが開始されます。

同梱物
（1） サービスチケット／約款　1枚

（2） パナソニックスイッチサービスチケット登録までの流れ／本サービスご利用にあたって　1枚

1. 定格・環境条件

1－1. 定格入力電圧	AC100V、50/60Hz、5.8A （電源内蔵）
1－2. 消費電力	定常時最大約490W
1－3. 皮相電力	最大約499VA
1－4. 突入電流	最大約21.3A（AC100V入力時）
1－5. 動作環境	動作温度範囲　0～50℃ 動作湿度範囲　20～80%RH（結露なきこと） ご注意：上記条件を満足しない場合は、火災・感電・故障・誤動作の原因となることがあり、原則として保証対象外となりますのでご注意ください。 ※動作環境温度外でご使用の場合、保護装置が働き電源が停止することがあります。
1－6. 保管環境	保管温度範囲　-20～70℃ 保管湿度範囲　10～90%RH（結露なきこと）
1－7. 適合規制	電磁放射　VCCI　クラスA 環境規制　RoHS指令
1－8. 耐性	静電気放電（ESD）　：IEC61000-4-2（10kV） 放射電磁妨害　：IEC61000-4-3 Level2 電気的ファストトランジェントバースト　：IEC61000-4-4 Level3 電気的サージ　：IEC61000-4-5 Level4（AC line） 耐伝導ノイズ性　：IEC61000-4-6 Level2 電源周波数イミュニティ　：IEC61000-4-8 Level4 瞬停/電圧変動　：IEC61000-4-11 ＊電気的サージ（配線誘導雷サージ）　：10kV （ツイストペアポート、当社試験方法による）

2. 形状

2－1. 形状及び材料・色彩	大きさ　：H44×W330×D230（mm）（突起部は除く） ケース材料　：SECC 色彩　：本体 グリーン03、 前面 ブラック03、 銘板ラベル ブラック04
2－2. 質量（重量）	約3,100g

3．ハードウェア仕様

3－1．インターフェース	ツイストペアポート（ポート1～10）　:RJ45コネクタ　10ポート（※1）（※5） 伝送方式　:IEEE802.3u　100BASE-TX IEEE802.3ab　1000BASE-T IEEE802.3bz　2.5GBASE-T IEEE802.3bz　5GBASE-T IEEE802.3an　10GBASE-T 伝送速度　:1000M/2.5G/5G/10Gbps全二重 100Mbps 全/半二重 適合ケーブル　:ツイスト・ペア・ケーブル EIA/TIA568 カテゴリー6相当以上（※2） 最大伝送距離　:100m（カテゴリー6Aケーブル使用時） オートネゴシエーション機能　:通信速度を自動認識 設定により100M/1000M/2.5G/5G/10Gbps に固定可能 100M設定時は全二重、半二重を固定可能 給電機能（ポート1～8）　:IEEE802.3bt/at/af ポート1～8に最大合計360W給電可能 ポートへの最大給電電力90W（工場出荷時） ポートへの最大給電電力95W（※3）（※4） 給電方式（ポート1～8）　:IEEE802.3at,af給電端末の接続時は、 Alternative A（ケーブル信号線1,2,3,6使用） IEEE802.3bt給電端末の接続時は、 Alternative A、B（ケーブル信号線1～8使用） （※1）省電力モードと省電力型イーサネット（EEE=Energy Efficient Ethernet）を サポート 省電力モード：リンクアップしていないときにポート毎の接続状態を検知し、 電力消費量を必要量に抑えることが可能。 工場出荷時：無効（管理画面にて変更可） 省電力型イーサネット（EEE-Energy Efficient Ethernet）： IEEE802.3az（LPI）に対応。リンクアップ時にデータ通信が 行われていない場合、自動的に省電力状態に移行し、ポート 毎に電力消費を抑えることが可能。 工場出荷時：無効（管理画面にて変更可） （※2）5GBASE-T以下を使用する場合はカテゴリー5e相当以上 （※3）供給制限設定にて95W設定時 90W超は弊社PoE++対応の受電機器のみ接続可能 （※4）AWG24,定格温度65℃以上のケーブルを推奨 SFP+拡張ポート（ポート11～12）：2ポート（※5） 伝送方式　:IEEE802.3z　1000BASE-X :IEEE802.3ae　10GBASE-SR/LR SFF-8472（DMI：Diagnostic Monitoring Interface） オプション　:1000BASE-SX SFP Module（i）（PN54022） 1000BASE-LX SFP Module（i）（PN54024） 10GBASE-SR SFP+ Module（i）（ZLP59022） 10GBASE-LR SFP+ Module（i）（ZLP59024） SFP+ダイレクトアタッチケーブル 1m （オーダー品番：OPSFPPK-T01） SFP+ダイレクトアタッチケーブル 5m （オーダー品番：OPSFPPK-T05） （※5）ポート9～12はアップリンクポート 工場出荷時：ループ検知・遮断機能無効

3．ハードウェア仕様

3－1．インターフェース	スタックポート(ポート13～14)　：2ポート オプション　：40G ダイレクトアタッチケーブル 1m （オーダー品番：OPQSFP-T01） 40G ダイレクトアタッチケーブル　2m （オーダー品番：OPQSFP-T02） ※QSFP+モジュールは使用できません。
3－2．スイッチング	スイッチング方式　：ストアアンドフォワード スイッチング容量　：320.0Gbps パケット転送能力(※)　：14,880,000pps/ポート(10Gbps) 7,440,000pps/ポート(5Gbps) 3,720,000pps/ポート(2.5Gbps) 1,488,000pps/ポート(1000Mbps) 148,800pps/ポート(100Mbps) MACアドレステーブル　：32Kエントリー/ユニット ポート単位での自動学習の有効/無効が可能、 固定登録が可能 バッファ　：3Mバイト フロー制御　：全二重　IEEE802.3x エージング　：10～1,000,000秒(デフォルト値は300秒) ジャンボフレーム対応　：対応(9KB) 透過可能フレーム　：EAP、BPDU (※)単一ポート使用時の最大パケット転送能力。装置全体としては最大240Mpps となります。
3－3．ターミナル エミュレータ接続	コンソール・ポート　：RJ45コネクタ　1ポート 通信方式　：RS-232C(ITU-TS　V.24) エミュレーションモード　：VT100 通信条件　：9,600bps、8bit、ノンパリティー、ストップビット 1bit
3－4. スタック	スタック最大数　：4台 スタック接続　：XA-AML8TFPoE++、XA-AML16TFPoE++、 XA-AM16Tと可能 ※スタック接続時は、全てのファームウェアVer.を必ず同一にしてご使用ください。 スタック最大帯域　：80Gbps スタックトポロジー　：Chain, Ring
3－5. USBスロット	USBメモリ用スロット　：1スロット USBスロット仕様　：USB 2.0 Type-A 対応USBメモリ容量　：4GB～32GB 用途　：ファームウェアおよびコンフィグの保存・読込 ※コンソールケーブルによるコンソール操作やデバイス管理は行えません。

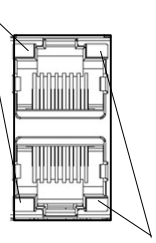
3．ハードウェア仕様

3－6．LED表示	(1)POWER(電源)LED 緑点灯　:電源ON 消灯　:電源OFF (2)STATUS/ECO(ステータス/ECO)LED 緑点灯　:ステータスモードで、システム正常稼動 緑点滅　:ECOモードで、システム正常稼動 (ECOモードは、全てのポートLEDが消灯) 橙点灯　:システム起動中 橙点滅　:システム障害 (3)PoE LIM.(PoEリミット)LED 消灯　:0～345Wの範囲で給電 緑点灯　:345～360Wの範囲で給電 橙点滅　:ポート単位の給電電力が上限を超過 装置全体で給電電力が360Wを超過 接続された端末の電力クラスによって割り当てられた電力容量により360Wを超過 (4)TEMP(温度センサ)LED 緑点灯　:正常稼動 橙点滅　:内部温度センサの設定閾値を超過 内部温度センサ設定閾値約60℃ (工場出荷時) (5)USB LED 消灯　:未挿入 緑点灯　:USBメモリ挿入中 緑点滅　:データ読込/書込中 橙点滅　:USB異常 (6)LED Mode / STACK(スタック) ID LED ①スタック情報表示 「H」とSTACK IDを交互に表示　:Masterスイッチ 「h」とSTACK IDを交互に表示　:バックアップMasterスイッチ STACK IDを表示　:Slaveスイッチ ②異常表示 「L」を表示　:ループ発生中、又はループ解消後3日以内 「F」を表示　:ファン異常 ※ファン異常時は、同時にSTATUS/ECO LEDが橙点滅します。

3. ハードウェア仕様

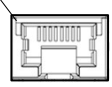
3－6. LED表示

ポート1～8
通信 LED（左）

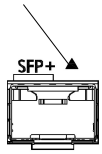


PoE LED（右）

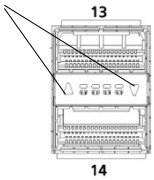
ポート9,10
通信 LED（左）



ポート11,12
通信 LED



ポート13,14
通信 LED



(6) LED Mode / STACK(スタック) ID LED

③LEDモード表示

前面部にあるLED表示切替ボタンを使用してモードを切り替えることで、各伝送速度における接続確認、 ループが発生した履歴があるポートを表示させることができます。各モードにおける、LED Mode / STACK ID LEDと通信LED（左）との関係は表1の通りです。

STATUSモードとECOモードとの切替はLED表示切替ボタンを長押し（3秒間以上）することにより変更できます。切替が正常に行われると、LED Mode/STACK ID LEDが1秒間、「18」と全点灯し、ボタンを離すとモードが移行します。

10Gモード、5Gモード、2.5Gモード、1Gモード、ループヒストリーモードのいずれかに変更し、LED表示切替ボタンを1分間使用しなかった場合には、自動的にSTATUSモードまたはECOモードへ戻ります。STATUSモードとECOモードは電源OFFになっても保持されます。

スタック中は、LED表示切替ボタンによるSTATUSモードとECOモードとの切替はできません。（CLIでの設定は可能）

表1

モード遷移	LED表示	通信LED（左）表示
ECO		全てのポート部LEDが消灯
STATUS		緑点灯 :リンクが確立 緑点滅 :データ送受信中 橙点灯 :ループ検知（ブロッキング中） 消灯　 :未接続、または ECOモードに設定
10G	10	緑点灯 :10Gbpsでリンクが確立 消灯　 :5Gbps 2.5Gbps 1000Mbps 100Mbpsでリンクが確立もしくは端末未接続
5G	5	緑点滅 :5Gbpsでリンクが確立 消灯　 :10Gbps 2.5Gbps 1000Mbps又 100Mbpsでリンクが確立もしくは端末未接続
2.5G	2	緑点灯 :2.5Gbpsでリンクが確立 消灯　 :10Gbps 5Gbps 1000Mbps又 100Mbpsでリンクが確立もしくは端末未接続
1G	1	緑点灯 :1000Mbpsでリンクが確立 消灯　 :10Gbps 5Gbps 2.5Gbps又100Mbpsでリンクが確立もしくは端末未接続
LOOP HISTORY	0	緑点灯 :ループ解消後 3日以内 消灯　 :ループ検知履歴なし

→ STATUSモードの場合（工場出荷時）
--→ ECOモードに設定の場合

PoE LED（右）はモードにかかわらず、表2のように表示します。

表2

LED表示	ポートの状態
緑点灯	PoE給電中
橙点滅	ポート単体のオーバーロードまたは装置全体のオーバーロードが発生し、給電できていないポートを表示
消灯	給電していない、もしくはPoE受電機器未接続 または、ECOモードに設定中

3．ハードウェア仕様

3－7．カスケード接続	ポート1～10がAuto MDI/MDI-Xに対応（管理画面にて変更可） 工場出荷時：有効
3－8．ファン	有

4. ソフトウェア仕様

4－1. 設定	以下の方法によって管理用パラメータの設定が可能 (1)コンソール・ポートに接続された非同期端末からの設定 (2)TELNETおよびSSHにより接続した遠隔端末からの設定 (3)Web画面(日本語/英語)による遠隔端末からの設定 (4)PPSによる設定
4－2. スイッチの管理	ZEQUO assist Plus、PPSによってスイッチの管理・動作状況の確認が可能。 以下の方法によってスイッチの管理が可能 (1)コンソール・ポートに接続された非同期端末からの管理 (2)SSH/TELNETとTCP/IPネットワーク接続を使用した遠隔端末からの管理 (3)SNMPマネージャによる管理 以下の機能によってスイッチ動作状況の確認が可能 (1)内部温度センサ機能 (2)CPU使用率・メモリの使用量表示機能 (3)SFPモジュール状態確認機能(DDM :Digital Diagnostic Monitoring)
4－3. 再起動	ソフトウェアから以下の2つの方法で再起動可能 (1)設定を保持した状態で再起動 (2)設定を工場出荷時に戻す再起動
4－4. エージェント	管理用プロトコル　:SNMP v1/v2c/v3(RFC 1157, RFC 1901, RFC 3411, RFC 3412, RFC 3413, RFC 3414, RFC 3415,RFC 3416) TELNET(RFC 854, RFC 855) SSH v2(RFC 4252, RFC 4253, RFC4254, RFC 4716, RFC 4419) 管理用プロトコル(オリジナル)　:PPSP データ転送用プロトコル　:TFTP(RFC 783, RFC 1350)
4－5. サポートMIB	RFC1213-MIB(MIBⅡ)　(RFC 1213)(※1) BRIDGE-MIB　(RFC 4188)(※2) SNMPv2-MIB　(RFC 1907) RMON-MIB　(RFC 2819)　etherStatsTableのみ RMON2-MIB　(RFC 2021) SNMP-FRAMEWORK-MIB　(RFC 2571) SNMP-MPD-MIB　(RFC 2572) SNMP-NOTIFICATION-MIB　(RFC 2573N) SNMP-TARGET-MIB　(RFC 2573T) SNMP-USER-BASED-SM-MIB　(RFC 2574) SNMP-VIEW-BASED-ACM-MIB　(RFC 2575) SNMP-COMMUNITY-MIB　(RFC 2576) IP-MIB　(RFC 4293)(※3) IF-MIB　(RFC 2863)　IfMIBを除く IEEE8021-PAE-MIB　dot1xPaeSupplicantを除く POWER-ETHERNET-MIB　(RFC 3621)(※4) EtherLike-MIB　(RFC 2665) MAU-MIB　(RFC 4836) P-BRIDGE- MIB　(RFC 4363) Q-BRIDGE- MIB　(RFC 4363) RADIUS-AUTH-CLIENT-MIB　(RFC 2618) RIPv2-MIB　(RFC 1724) IP-FORWARD-MIB　(RFC 4292) RADIUS-ACC-CLIENT-MIB　(RFC 2620) DISMAN-PING-MIB　(RFC 2925) VRRP-MIB　(RFC 2787) ENTITY-MIB　(RFC 2737) HOST-RESOURCES-MIB　(RFC 2790)

4. ソフトウェア仕様

4－5. サポートMIB	※1 次の項目を除く At , ipRouteTable, icmp, egp ※2 次の項目を除く dot1dStp, dot1dSr, dot1dStatic ※3 次の項目を除く ipDefaultRouterTable, ipv6RouterAdvertTable ※4 次の項目を除く deelxSoppConfigTable,dotlxSuppStatusTableを除く
4－6. ログ	最大保持数:10,000 Syslogサーバ転送機能(IPv4/v6)
4－7. ループ検知・遮断	ループ検知が発生したポートをLEDでお知らせし、そのポートを自動的に遮断します。 また、ループが発生中、またはループ解消後3日間は、LED Mode / STACK ID LEDが「L」と表示し、お知らせします。 ・ループ検知設定 有効(工場出荷時設定) コンソールによる設定、またはLED表示切替ボタンを10秒以上長押しによる有効/無効切替(※1)(※2) (※1)LED表示切替ボタンによる設定は電源をOFFにしても設定は保持されます (※2)スタック接続した本製品は、LED表示切替ボタンによる有効/無効の切替はできません。(CLIでの設定は可能) ・ループ検知ポート 有効　ポート1～8(工場出荷時設定) 無効　ポート9～12(工場出荷時設定) ・ループ遮断時間 60～86,400秒(工場出荷時設定:60秒) 設定時間ポートLEDが橙点灯し、ポートを遮断 ・ループ履歴保持時間 3日間 LED Mode / STACK ID LEDが3日間「L」表示。 ループヒストリーモードにて、ポートLEDでループ履歴のあるポートを確認することが可能です。 ループ遮断モードに以下2種類のモードがあります ・ブロックモード(工場出荷時設定) ループ検知時は、自動的にポートのステータスをブロッキングにし、ループ検知パケットを含む特定のパケットのみ送受信を行います。 ・シャットダウンモード ループ検知時は、自動的にポートをリンクダウンし、すべてのパケットの送受信を行いません。(※3) (※3)設定した復旧時間の30秒前より自動的にループ検知パケットのみ送受信を行います。

4. ソフトウェア仕様

4－8. その他	Syslog Client（Syslogサーバへのシステムログ転送） TFTP Client（ソフトウェアアップグレード、設定情報の保存・読込） SNTP Client TELNET Client DHCP Client LLDP LLDP-MED DNSリゾルバ DNSRELAY DHCP Snooping DDM Statistics メンテナンスモード AVoIP用ワンタッチ機能

5．レイヤ2スイッチ機能

5－1．スパニングツリー	IEEE 802.1D スパニングツリープロトコル、ラピッドスパニングツリープロトコル IEEE 802.1Q マルチプルスパニングツリープロトコル BPDUガード機能
5－2．VLAN	IEEE 802.1Q, プライベートVLAN機能, MACアドレスベースVLAN機能 サブネットベースVLAN機能, プロトコルベースVLAN機能, VLAN登録数 4,094個 （デフォルトも含む）,Asymmetric VLAN機能, Voice VLAN機能（LLDP-MED使用） ダイナミックVLAN機能, ゲストVLAN機能, インターネットマンション機能
5－3．リンクアグリゲーション	IEEE802.3ad　リンクアグリゲーション機能（LACP/Manual） 最大20グループ構成可能（1グループ最大8ポート）
5－4．SPAN、RSPAN	対象となるポートのトラフィックを指定したポートにコピーして送信可能 （複数の対象ポート指定可能） RSPANにより、遠隔にあるスイッチのパケットをモニタリング可能
5－5．ポートグルーピング機能	同一グループのみ通信制御が可能（最大256グループの登録が可能）
5－6．QoS	IEEE802.1p 8段階の優先制御 スケジューリング方式: Strict Priority Queuing（SPQ：絶対優先スケジューリング） Weighted Round Robin（WRR：重み付きラウンドロビンスケジューリング） Weighted Deficit Round Robin （WDRR：重み付き不足ラウンドロビンスケジューリング）
5－7．認証機能	IEEE802.1Xポートベース認証機能 IEEE802.1Xを用いたMACベース個別認証機能 IEEE802.1Xを用いたダイナミックVLAN機能 IEEE802.1Xを用いたゲストVLAN機能 （EAP-MD5/TLS/PEAP認証方式） IEEE802.1X サプリカント 登録MACアドレス強制認証機能 EAPフレーム透過機能（ポート単位でEAP透過の有効/無効が可能） MAC認証 Web認証 トリプル認証（※1） ステップ認証（※2） ※1 1つのポートでIEEE802.1X MACベース/MAC/WEB認証を同時待ち受け可能 ※2 ユーザー認証と端末認証を段階的実行可能 MAC-WEB認証 MAC-802.1X認証 802.1X-WEB認証
5－8．PoE給電機能	IEEE802.3bt/at/af 給電機能 ポート1～8に最大合計360W給電可能 ポートへの最大給電電力90W（工場出荷時:Auto） ポートへの最大給電電力95W（※3）（※4） ※3 供給制限設定にて95W設定時 90W超は弊社PoE++対応の受電機器のみ接続可能。 ※4 AWG24,定格温度65℃以上のケーブルを推奨する。 給電方式： IEEE802.3at,af給電端末の接続時は、Alternative A（ケーブル信号線1,2,3,6利用） IEEE802.3bt給電端末の接続時は、Alternative A,B（ケーブル信号線1～8利用
5－9．PoEスケジューラ機能	PoEの給電制御をスケジューリング可能 月、週、日単位または指定した日付にて設定可能 スケジュール登録数　最大32件
5－10．PoEオートリブート機能	Ping、LLDP、トラフィック量の3方式により監視、対象ポートの給電の OFF/ONが可能

5. レイヤ2スイッチ機能

5－11. オートファン コントロール機能	使用環境(使用環境温度/給電量)によって、自動で使用環境に適した回転数に変化し、ファン騒音を低減させることが可能です。 使用環境・条件 動作環境温度 / 給電電力(Power Budget) / 10Gリンク数(最大) 50℃ 360W 8 50℃ 180W 4 40℃ 360W 8 40℃ 180W 4 30℃ 360W 8 30℃ 180W 4
5－12. リングプロトコル	リング構成で冗長化が可能(最大8グループの登録が可能)
5－13. マルチキャスト	IGMP snooping (IGMP v1/v2/v3)機能(最大グループ数:512) IGMP Querier機能 MLD snooping (MLDv1/v2)対応(最大グループ数:512) MLD Querier機能 マルチキャストフィルタリング機能
5－14. アクセスコントロール	以下のパラメータでアクセス制御が可能 (1) IPv4アドレス、IPv6アドレス(Source またはDestination) (2) MACアドレス(Source またはDestination) (3) TCP/UDPポート番号(Source またはDestination) (4) VLAN ID (5) IEEE802.3p Priority (6) DSCP、DSCP6 (7) Protocol (8) ICMPタイプ (9) TCP SYN Flag
5－15. 時間設定	SNTP設定 時刻手動設定
5－16. ストームコントロール 機能	Broadcast、Multicastのストームを制御可能
5－17. リンク監視機能	UDLD (UniDirectional Link Detection)による単一方向のリンク状態を監視可能
5－18. トラフィック監視機能	sFlowによるトラフィック監視が可能 Packet Buffer Loss Counterによる廃棄パケット数の監視が可能
5－19. PTP機能	IEEE1588v2 E2E TC

6. レイヤ3スイッチ機能

6－1. IPv4ルーティング	Static RIP v1/v2
6－2. IPv6ルーティング	Static
6－3. IPフォワーディング	最大 240 Mpps
6－4. VRRP	最大仮想ルータ数　:256
6－5. マルチキャスト ルーティング	IGMP Proxy機能 MLD Proxy機能
6－6. DHCPv4サーバ	IPアドレス割当数　:1024 最大テーブル数　:20 最大マニュアルバインディング数　:16
6－7. DHCPv6サーバ	IPアドレス割当数　:704 最大テーブル数　:20 最大マニュアルバインディング数　:64
6－8. DHCPリレー(IPv4/v6)	DHCP Option　:60,61,82 DHCP v6 Option　:18,37

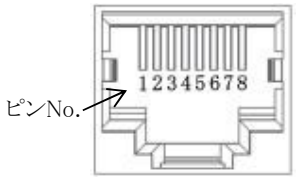
7. Web管理機能

7－1. 対応ブラウザ	Microsoft Edge
7－2. 設定機能	
7－2－1. スイッチング設定	管理情報設定 IPアドレス設定 SNMP設定 SNTP設定 ポート設定 アクセス条件設定 ユーザ名/パスワード設定 時刻設定 LLDP設定 VLAN設定 リンクアグリゲーション設定 QoS設定 ストームコントロール設定 アクセスコントロール設定 ARPエントリ手動登録 UDLD システムログ システムログ送信設定 ポートグルーピング設定 ポートモニタリング設定 ポートカウンタ設定および参照 認証設定 IGMP Querier設定 IGMP Snooping設定 MLD　Querier設定 MLD　Snooping設定 スパニングツリー設定 MSTP(マルチプルスパニングツリー)設定 ループ検知・遮断設定 DDM設定 リングプロトコル設定 PoE設定 統計情報 sFlow スタック設定 IPv4/IPv6 static　Routing設定 IPv4 RIP設定
7－2－2. 時間設定	SNTP設定、時刻手動設定
7－3. モニタ設定	
7－3－1. 基本情報	システム情報、ハードウェア情報、管理情報[ホスト名(sysName)の表示]、 システムアドレス情報
7－3－2. 学習・記録情報	FDBテーブル、ARPテーブル、統計情報、システムログ
7－4. システム管理ツール	ファームウェア更新、再起動、設定情報保存、設定ファイル転送、Ping実行

8. コネクタ　ピン配置

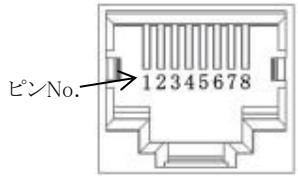
8－1. ポート1～10

状態	ピンNo.	1	2	3	6	4	5	7	8
MDI-X	信号	BI_DB+	BI_DB-	BI_DA+	BI_DA-	BI_DD+	BI_DD-	BI_DC+	BI_DC-
MDI	信号	BI_DA+	BI_DA-	BI_DB+	BI_DB-	BI_DC+	BI_DC-	BI_DD+	BI_DD-



8－2. コンソール・ポート

ピンNo.	信号	ピンNo.	信号
1	NC	5	GND
2	NC	6	RXD
3	TXD	7	NC
4	GND	8	NC



9. 設置方法・付属品

9－1. 設置方法	(1) 19インチラックへの取付 (2) 壁面への取付 (3) 什器へのマグネット取付
9－2. 付属品	(1) ゴム足　：4個 (2) 取付金具(19インチラックマウント用)　：2個 (3) ねじ(19インチラックマウント用)　：4本 (3) ねじ(取付金具と本体接続用)　：8本 (4) 電源コード1.8m (※)　：1本 ※ 付属の電源コードはAC100V専用コードです。

10. 別売オプション

10－1. コンソールケーブル (品番:PN72001)	(1)RJ45-Dsub9ピン コンソールケーブル　：1本
10－2. ゴム足(マグネット内蔵) (品番:PN71054)	(1) ゴム足(マグネット内蔵)　：4個 (2) ねじ(ゴム足取付用)　：4本
10－3. 壁取付用金具 (品番:PN71053)	(1) 取付金具(壁取付用)　：2個 (2) ねじ(壁取付金具と本体接続用)　：8本
10－4. AVラックマウント用 金具	(1) AVラックマウント用金具　：2個 (2) ねじ(金具接続用)　：12本 (3) 保護用キャップナット　：12本
10－5. 1000BASE-SX SFP Module(i) (品番:PN54022)	光ファイバ・ポート　：LCコネクタ(2芯) 伝送方式　：IEEE802.3z　1000BASE-SX 伝送速度　：1000Mbps 全二重 適合ケーブル　：光ファイバケーブル 50/125μm マルチモードファイバ 62.5/125μm マルチモードファイバ 最大伝送距離　：50/125μm の場合550m 62.5/125μm の場合275m 動作温度範囲　：0～60℃
10－6. 1000BASE-LX SFP Module(i) (品番:PN54024)	光ファイバ・ポート　：LCコネクタ(2芯) 伝送方式　：IEEE802.3z　1000BASE-LX 伝送速度　：1000Mbps 全二重 適合ケーブル　：光ファイバケーブル 10/125μm　シングルモードファイバ 50/125μm　マルチモードファイバ 62.5/125μm マルチモードファイバ 最大伝送距離　：シングルモードファイバの場合10km マルチモードファイバの場合550m 動作温度範囲　：0～60℃ ※マルチモードファイバでIEEE802.3z 1000BASE-LX接続を行う場合には、 MCP(モードコンディショニング・パッチコード)が別途必要です。

10. 別売オプション

10－7. 10GBASE-SR SFP+ Module(i) (品番:ZLP59022)	光ファイバ・ポート : LCコネクタ(2芯) 伝送方式 : IEEE802.3ae 10GBASE-SR 伝送速度 : 10Gbps 全二重 適合ケーブル : 光ファイバケーブル 50/125μm マルチモードファイバ 62.5/125μm マルチモードファイバ 最大伝送距離 : 50/125μmの場合300m 62.5/125μmの場合33m
10－8. 10GBASE-LR SFP+ Module(i) (品番:ZLP59024)	光ファイバ・ポート : LCコネクタ(2芯) 伝送方式 : IEEE802.3ae 10GBASE-LR 伝送速度 : 10Gbps 全二重 適合ケーブル : 光ファイバケーブル 10/125μm シングルモードファイバ 最大伝送距離 : 10km
10－9. 40Gダイレクト アタッチケーブル1m (オーダー品番:OPQSFP-T01)	40Gダイレクトアタッチケーブル 1m
10－10. 40Gダイレクト アタッチケーブル2m (オーダー品番:OPQSFP-T02)	40Gダイレクトアタッチケーブル 2m
10－11. SFP+ダイレクト アタッチケーブル1m (オーダー品番:OPSFPPK-T01)	10Gダイレクトアタッチケーブル 1m
10－12. SFP+ダイレクト アタッチケーブル5m (オーダー品番:OPSFPPK-T05)	10Gダイレクトアタッチケーブル 5m

ラック取り付け時は、付属の取付金具を使用してください。別売のPN71055は使用できません。

11. 安全確保のための使用上の禁止事項

「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
下記の項目を満足されていない場合のトラブルに関しては、責任を負いかねます。
本商品のご使用に際しては、以下の点を遵守ください。

(1) 交流100V以外では使用しない
火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。

(2) 雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れない
感電の原因になるおそれがあります。

(3) この装置を分解・改造しない
火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。

(4) 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、はさみ込んだり、重いものをのせたり、加熱したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になるおそれがあります。

(5) ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電・故障の原因になるおそれがあります。

(6) 開口部やツイストペアポートから内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしない
火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。

(7) 水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所、導電性のほこり、腐食性ガス、可燃性ガスのある場所で保管・使用しない
火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。

(8) 直射日光の当たる場所や温度の高い場所で、保管・使用しない
内部の温度が上がり、火災の原因になるおそれがあります。

(9) 振動・衝撃の多い場所や不安定な場所で保管・使用しない
落下して、けが・故障の原因になるおそれがあります。

(10) この装置をオプションのゴム足(マグネット内蔵)で取り付ける場合は、床面より高さ80cmを超える位置への設置、振動・衝撃の多い場所や不安定な場所、装置の下を人が通るような場所(高所)に設置しない
落下して、けが・故障の原因になるおそれがあります。

(11) この装置を火に入れない
爆発・火災の原因になるおそれがあります。

(12) レーザ光を見ない
視力障害の原因になるおそれがあります。(クラス1 レーザ製品)

(13) ツイストペアポートに100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T/5GBASE-T/10GBASE-T以外の機器を接続しない
故障の原因になるおそれがあります。

(14) SFP/SFP+拡張ポートに別売の当社指定の SFP/SFP+モジュール、SFP+ダイレクトアタッチケーブル以外を挿入しない
故障の原因になるおそれがあります。
対応するSFP+モジュール、SFP+ダイレクトアタッチケーブルの最新情報は、ホームページにてご確認ください。

(15) スタックポートに別売の当社指定の40Gダイレクトアタッチケーブル以外を挿入しない
故障の原因になるおそれがあります。
対応する40Gダイレクトアタッチケーブルの最新情報は、ホームページにてご確認ください。

(16) コンソールポートに別売のRJ45-Dsub9ピンコンソールケーブル以外を接続しない
火災・感電・故障・誤動作の原因になるおそれがあります。

11. 安全確保のための使用上の禁止事項

(17) USBスロットにUSBメモリ以外を挿入しない
故障の原因になるおそれがあります。

(18) 床、床下、天井裏、盤など塵埃環境で使用しない
床や床下、天井裏、盤など、ほこりの多い場所では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。ラック内など、ほこりが発生しづらい環境にて運用いただくことを推奨します。

12. 安全確保のための使用上の注意事項

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
下記の項目を満足されていない場合のトラブルに関しては、責任を負いかねます。
本商品のご使用に際しては、以下の点を遵守ください。

(1) 付属の電源コード(交流100V、7A仕様)を使う
感電・誤動作・故障の原因になるおそれがあります。

(2) 故障時は電源プラグを抜く
電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になるおそれがあります。

(3) 必ずアース線を接続する
感電・誤動作・故障の原因になるおそれがあります。
アース接続されたコンセントに付属の電源コードで接続してください。
コンセントがアース接続されていない場合は、アース端子ねじにアース線(AWG18:緑/ 黄)を接続してください。

(4) 電源コードを電源ポートにゆるみなどがないよう、確実に接続する
感電や誤動作の原因になるおそれがあります。

(5) STATUS/ECO(ステータス/ECOモード)LEDが橙点滅、もしくはLED Mode/STACK ID LEDが「F」が表示された場合は、故障のため電源プラグを抜く
電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になるおそれがあります。

(6) ツイストペアポート、SFP+拡張ポート、スタックポート、電源コード掛けブロック、コンソールポート、USBスロットで手などを切らないよう注意の上取り扱う

(7) この装置をラックマウントする場合は、付属の取付金具(19インチラックマウント金具) 2個とねじ(ラック取付金具と本体接続用)8本を使用して、装置の横にそれぞれある4つの穴に取付金具を取り付け、確実に固定してから、設置する
確実に固定されない場合、落下などにより、けが・故障の原因となるおそれがあります。

(8) この装置を壁面に取り付ける場合は、別売の壁取付用金具にて、本体および接続ケーブルの重みにより落下しないよう確実に取り付け・設置する
落下などにより、けが・故障の原因になるおそれがあります。

(9) 光ファイバーケーブルのコネクタ部がほこりなどで汚れていないか確認する
正常に光信号が伝送されず、誤動作・故障の原因になるおそれがあります。汚れている場合は、必ず清掃してから光ファイバーポートに接続してください。

(10) 性能維持のために定期的にメンテナンスをする
装置の管理者を決めていただき、定期的なメンテナンスを必ず実施してください。メンテナンス時に確認が必要な項目を列挙した点検表は、当社ホームページにて公開しています。

(11) この装置を使用してシステムを設計する場合、冗長化構成を組むなど適切な処置を講じた上で使用する
使用中の故障・誤動作などの要因により、通信障害が発生する場合があります。

12. 安全確保のための使用上の注意事項

(12) この装置を極めて高い信頼性が必要とされる用途に使用する場合には、安全性、信頼性の確保に万全を期するよう注意する
極めて高い信頼性が必要とされる用途(鉄道、航空、医療用等での使用のうち、通信障害による影響度が極めて高いシステム、人命に直接影響するシステム)に使用されることを意図した設計・製造はされておりません。

(13) 経年劣化などの使用環境に起因した障害に注意する
稼働率、使用環境などの条件により異なりますが、部品の経年劣化等により、性能が低下することがあります。
この装置は、設置後 5 年程度での交換を推奨いたします。

(14) この装置を使用できる環境の制限に注意する
①商用電源線と通信線を隔離してください。一般社団法人日本電気協会発行の内線規程に記載のとおり、配線と他の配線または弱電流電線、光ファイバーケーブル、金属製水管、ガス管などと隔離してください。通信線にノイズが生じ、通信不具合の原因になるおそれがあります。

②VCCI クラスA 情報技術装置については、家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

(15) コンソールポートにシリアル通信端末以外を接続しない
故障の原因になるおそれがあります。

(16) IEEE802.3bt/at 対応の受電機器をこの装置に接続する場合、Cat5e 以上のケーブルを使用する
上記以外のケーブルを使用すると、発熱・発火・故障の原因になるおそれがあります。

(17) 10GBASE-T(IEEE 802.3an)対応機器をこの装置に接続する場合、Cat6 以上のケーブルを使用する
上記以外のケーブルを使用すると、故障の原因になります。

(18) IEEE802.3bt 対応機器をこの装置に接続する場合、AWG24・定格温度65℃以上のケーブルを推奨する
上記以外のケーブルを使用すると、発熱・発火・故障の原因になります。

(19) この装置のツイストペアポート側および電源ポート側への避雷器(SPD)の設置を強く推奨する
落雷の影響による過電流・過電圧が故障の原因になるおそれがあります。

13. 使用上の注意事項

(1) 内部の点検・診断は販売店にご依頼ください。

(2) 商用電源は必ずこの装置の近くで、取り扱いやすい場所からお取りください。

(3) この装置を設置・移動する際は、電源コードを外してください。

(4) この装置を清掃する際は、電源コードを外してください。

(5) 仕様限界をこえると誤動作の原因となるおそれがありますので、ご注意ください。

(6) この装置をマグネットで取り付ける場合は、ケーブルの重みなどで装置がずれたり落下したりしないことをご確認ください。
また、ケーブルを接続するときは、装置本体を押さえて接続してください。

(7) RJ45コネクタの金属端子やコネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグの金属端子、SFP＋拡張ポート、スタックポート内部の金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。
静電気により故障の原因になるおそれがあります。

(8) コネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグをカーペットなどの帯電するものの上や近辺に放置しないでください。
静電気により故障の原因になるおそれがあります。

(9) 落下など強い衝撃を与えないでください。故障の原因になるおそれがあります。

(10) コンソールポートにコンソールケーブルを接続する際は、事前にこの装置以外の金属製什器などを触って静電気を除去してください。

(11) 周囲の温度が0 ～ 50℃の場所でお使いください。
また、以下場所での保管・使用はしないでください。
（仕様の環境条件下にて保管・使用をしてください）
- 水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所
- ほこりの多い場所、静電気障害のおそれのある場所（カーペットの上など）
- 直射日光が当たる場所
- 結露するような場所、仕様の環境条件を満たさない高温・低温の場所

上記条件を満足しない場合は、火災・感電・故障・誤動作の原因となるおそれがあり、保証しかねますのでご注意ください。
※動作環境温度外でご使用の場合、保護装置が働き内部電源が停止することがあります。

(12) この装置の通風口をふさがないでください。通風口をふさぐと内部に熱がこもり誤動作の原因になるおそれがあります。

(13) この装置を上下に重ねて置かないでください。また、左右に並べておく場合はすき間を20mm以上設けてください。

(14) ラックマウントする場合は、上下の機器との間隔を20mm以上離してお使いください。

(15) IEEE802.3bt対応機器と接続したケーブルを束ねて設置する場合、ケーブル本数は24本以下を推奨します。
ケーブル仕様により複数本束ねて配線すると、発火・故障・誤動作の原因になるおそれがあります。
※詳細の設置条件はご利用のケーブルメーカにお問い合わせください。

(16) スタック接続を行う場合は、全ての装置のファームウェアバージョンを必ず同一にしてご使用ください。
ファームウェアバージョンが異なる場合、動作保証いたしませんのでご注意ください。

(17) 本製品にご使用頂くUSBメモリはUSB2.0対応となっており、当社HP内の検証リストに記載のUSBメモリを推奨しております。
ただし、全てのUSBメモリの動作を保証するものではありません。
また、USBメモリのフォーマットはこの装置で実施してください。

14. 品質保証について

本商品の品質管理には最大の注力をいたしますが、

(1) 万一、本商品の品質不良が原因となり、人命並びに財産に多大の影響が予測される場合には、本仕様書記載の特性・数値に対し余裕を持たれ、かつ二重回路等の安全対策を組み込んでいただくことを、製造物責任の観点からお勧めします。

(2) 本商品の品質保証期間はお買上げ日(お引渡し日)より1年間です。

(3) 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償交換をさせていただきます。ここでいう保証は、ご購入または納入された本商品単体の保証(無償交換)に限ります。
●機器の交換作業はお客様で実施をお願いいたします。
●交換依頼時の当社までの送料はお客様にてご負担ください。

(4)保証期間内でも、次の場合には原則として保証対象外とさせていただきます。
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や本体ケース開封を含む分解、改造による故障および損傷
(ロ) 当社の仕様書、カタログ等に記載されている使用条件、環境の範囲を超えた使用による故障および損傷
(ハ) 施工上の不備に起因する故障や不具合
(ニ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
(ホ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
(ヘ) 取扱説明書で要求されるメンテナンスを行わないことによる故障および損傷
(ト) 保証書のご提示がない場合
(チ) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(リ) 日本国内以外でのご使用による故障および損傷
(ヌ) ファームウェアの不具合

当社は、この仕様書に掲載の商品の使用または使用不能に関して発生したいかなる損害(逸失利益、機会損失等を含みますがこれらに限らないものとします)もその責を一切負わないものとします。